

2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年11月5日
上場取引所 東

上場会社名 昭和電線ホールディングス株式会社
 コード番号 5805 URL <https://www.swcc.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 グループCEO (氏名) 長谷川 隆代
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 事業戦略統括本部経営企画部長 (氏名) 小又 哲夫 TEL 044-223-0520
 四半期報告書提出予定日 2019年11月8日
 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績 (2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	85,976	0.7	4,273	88.8	3,979	113.8	2,856	118.9
2019年3月期第2四半期	85,368	6.9	2,263	△13.6	1,861	△13.4	1,305	26.6

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 2,876百万円 (128.7%) 2019年3月期第2四半期 1,258百万円 (7.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	95.78	-
2019年3月期第2四半期	43.76	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	123,011	38,294	30.7
2019年3月期	124,165	35,628	28.1

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 37,715百万円 2019年3月期 34,943百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	-	0.00	-	7.00	7.00
2020年3月期	-	0.00	-	-	-
2020年3月期 (予想)	-	-	-	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	173,000	△2.4	7,300	9.9	6,600	17.8	4,800	5.0	160.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注)詳細は、添付資料P.9「2. (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2020年3月期2Q	30,826,861株	2019年3月期	30,826,861株
2020年3月期2Q	1,003,688株	2019年3月期	1,003,297株
2020年3月期2Q	29,823,406株	2019年3月期2Q	29,824,262株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(連結の範囲又は持分法範囲の変更)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、設備投資等の内需が堅調に推移したものの、輸出は米中貿易摩擦の長期化等により世界経済の景気減速が鮮明となり、景気の回復は不透明な状況となっております。

電線業界におきましては、建設・電販向けや自動車向けが堅調に推移したことから、電線全体の需要は引き続き増加傾向で推移しました。

このような環境下、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は859億76百万円（前年同四半期対比0.7%増）となりました。損益面では、営業利益は42億73百万円（前年同四半期対比88.8%増）、経常利益は39億79百万円（前年同四半期対比113.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は28億56百万円（前年同四半期対比118.9%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より報告セグメントの区分をそれぞれ変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組替えた数値で比較しております。

報告セグメントの変更の詳細については、「2. (4) . II. 2 報告セグメントの変更等に関する情報」をご参照ください。

(エネルギー・インフラ事業)

国内インフラは、東京オリンピック・パラリンピック需要等による建設関連向けや電力インフラの設備更新需要が引き続き堅調に推移したことから、売上高は419億47百万円（前年同四半期対比8.3%増）、営業利益は29億3百万円（前年同四半期対比198.2%増）となりました。

(通信・産業用デバイス事業)

海外向け光ファイバ需要が減少しましたが、国内の建設関連向け通信ケーブルの需要が増加したことから、売上高は168億69百万円（前年同四半期対比4.4%減）、営業利益は13億18百万円（前年同四半期対比26.1%増）となりました。

(電装・コンポーネンツ事業)

電装品向け等の高品位線材は堅調に推移しましたが、巻線全般の需要低迷が継続したことから、売上高は247億57百万円（前年同四半期対比6.6%減）、営業利益は2億4百万円（前年同四半期対比46.5%減）となりました。

(その他)

新規事業はほぼ前年度並みで推移したことから、売上高は24億2百万円（前年同四半期対比3.7%減）、営業利益は1億10百万円（前年同四半期対比279.7%増）となりました。

注. 上記、セグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高または振替高を含めておりません。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は1,230億11百万円（前連結会計年度末総資産1,241億65百万円）で、主に受取手形及び売掛金が減少したため、前連結会計年度末より11億54百万円減少しております。

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は847億16百万円（前連結会計年度末負債合計885億37百万円）で、主に借入金が減少したため、前連結会計年度末より38億20百万円減少しております。

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は382億94百万円（前連結会計年度末純資産356億28百万円）で、主に親会社株主に帰属する四半期純利益28億56百万円を計上したため、前連結会計年度末より26億66百万円増加しております。その結果、DEレシオは当第2四半期連結会計期間末で119%となり、前連結会計年度対比15ポイントの改善となりました。

(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明

①2020年3月期通期連結業績予想の修正について

2020年3月期通期連結業績予想につきましては、米中貿易摩擦等の影響が引き続き見込まれるものの、エネルギー・インフラ事業の建設関連向けや電力インフラの設備更新需要が堅調に推移すると見込まれることから、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は前回予想を上回る見込みとなりましたので修正いたします。

詳細につきましては、本日（2019年11月5日）公表いたしました「2020年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2020年3月期通期連結業績予想数値の修正（2019年4月1日～2020年3月31日）

（単位：百万円、％）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
前回発表予想(A)	173,000	6,500	5,800	4,500
今回修正予想(B)	173,000	7,300	6,600	4,800
増減額(B-A)	—	800	800	300
増減率(%)	—	12.3	13.8	6.7
(ご参考)前期実績 (2019年3月期)	177,174	6,640	5,603	4,569

②中期経営計画のローリングについて

当社は、2018年5月11日に2022年度を最終年度とする中期経営計画「Change SWCC2022」を公表しましたが、2018年度連結業績および市場環境の変化と新たな事業セグメント体制への移行を鑑みて、中期経営計画「Change SWCC2022」ローリングプラン(2019)を策定いたしました。合わせて当社グループのありたい姿である「SWCC VISION2026」の達成目標も見直しております。

詳細につきましては、本日（2019年11月5日）公表いたしました「中期経営計画『Change SWCC2022』ローリングプラン（2019）」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,877	3,970
受取手形及び売掛金	43,437	40,026
商品及び製品	9,167	8,808
仕掛品	7,480	8,544
原材料及び貯蔵品	4,617	5,371
その他	4,581	4,814
貸倒引当金	△23	△24
流動資産合計	74,138	71,512
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,365	7,292
機械装置及び運搬具（純額）	5,716	5,778
土地	23,600	23,600
その他（純額）	2,563	2,711
有形固定資産合計	39,245	39,382
無形固定資産	1,224	1,162
投資その他の資産		
投資有価証券	5,537	6,602
繰延税金資産	1,102	1,073
退職給付に係る資産	1,911	2,221
その他	2,014	2,034
貸倒引当金	△1,007	△978
投資その他の資産合計	9,557	10,953
固定資産合計	50,027	51,498
資産合計	124,165	123,011
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	21,238	19,770
短期借入金	33,524	31,078
1年内償還予定の社債	—	60
未払金	8,620	8,217
未払法人税等	651	1,261
工事損失引当金	52	52
事業構造改善引当金	5	—
製品改修費用引当金	854	618
その他	4,807	4,234
流動負債合計	69,755	65,294
固定負債		
長期借入金	12,054	12,635
繰延税金負債	37	50
再評価に係る繰延税金負債	4,188	4,188
社債	—	240
役員退職慰労引当金	59	—
退職給付に係る負債	636	663
その他	1,805	1,644
固定負債合計	18,781	19,422
負債合計	88,537	84,716

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	24,221	24,221
資本剰余金	5,536	5,556
利益剰余金	965	3,613
自己株式	△916	△916
株主資本合計	29,807	32,474
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	918	878
土地再評価差額金	5,581	5,581
為替換算調整勘定	1,213	945
退職給付に係る調整累計額	△2,578	△2,164
その他の包括利益累計額合計	5,135	5,241
非支配株主持分	685	578
純資産合計	35,628	38,294
負債純資産合計	124,165	123,011

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	85,368	85,976
売上原価	75,608	74,321
売上総利益	9,760	11,655
販売費及び一般管理費	7,497	7,382
営業利益	2,263	4,273
営業外収益		
受取利息	66	80
受取配当金	33	59
持分法による投資利益	—	48
その他	80	72
営業外収益合計	181	260
営業外費用		
支払利息	417	357
持分法による投資損失	7	—
為替差損	2	14
その他	155	182
営業外費用合計	583	554
経常利益	1,861	3,979
特別利益		
関係会社清算益	—	22
特別利益合計	—	22
特別損失		
関係会社清算損	—	6
特別損失合計	—	6
税金等調整前四半期純利益	1,861	3,994
法人税等	522	1,221
四半期純利益	1,338	2,772
非支配株主に帰属する四半期純利益	33	△83
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,305	2,856

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	1,338	2,772
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	74	△40
為替換算調整勘定	△205	△174
退職給付に係る調整額	176	413
持分法適用会社に対する持分相当額	△125	△95
その他の包括利益合計	△80	104
四半期包括利益	1,258	2,876
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,227	2,962
非支配株主に係る四半期包括利益	31	△85

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,861	3,994
減価償却費	1,485	1,531
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1,185	△27
工事損失引当金の増減額 (△は減少)	5	△0
製品改修費用引当金の増減額 (△は減少)	474	△236
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△6	27
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△24	△59
受取利息及び受取配当金	△100	△140
支払利息	417	357
為替差損益 (△は益)	305	252
関係会社清算損益 (△は益)	—	△15
持分法による投資損益 (△は益)	7	△48
売上債権の増減額 (△は増加)	△2,084	3,411
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△624	△1,459
仕入債務の増減額 (△は減少)	△727	△1,576
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△191	△317
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	530	△336
その他	△841	△461
小計	1,672	4,893
利息及び配当金の受取額	78	147
利息の支払額	△419	△363
事業構造改善費用の支払額	△1	△5
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△502	△620
営業活動によるキャッシュ・フロー	826	4,050
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△5	△55
有形固定資産の取得による支出	△1,247	△1,318
有形固定資産の売却による収入	15	102
無形固定資産の取得による支出	△137	△129
関係会社出資金の払込による支出	△572	△1,153
連結の範囲の変更を伴う子会社出資金の売却による支出	△48	—
短期貸付金の増減額 (△は増加)	3	△0
資産除去債務の履行による支出	△123	—
その他	△69	103
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,184	△2,451
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	2,889	△2,386
長期借入れによる収入	2,000	4,250
長期借入金の返済による支出	△4,339	△3,864
社債の発行による収入	—	300
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△149	△208
その他	△406	△314
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6	△2,225
現金及び現金同等物に係る換算差額	△157	△201
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,522	△828
現金及び現金同等物の期首残高	4,603	4,721
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,081	3,893

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法範囲の変更)

(連結の範囲の重要な変更)

2019年8月1日にSFCC㈱を新設したため、当第2四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、関係会社出資金の追加取得を行っております。この結果、当第2四半期連結累計期間において資本剰余金が19百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末において資本剰余金5,556百万円となりました。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

a. セグメント情報

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	エネルギー・ インフラ事業	通信・産業用 デバイス事業	電装・コンポ ーネッツ事業				
売上高							
外部顧客へ の売上高	38,720	17,639	26,515	2,493	85,368	—	85,368
セグメント 間の内部売 上高又は振 替高	10	347	1,092	2,917	4,368	△4,368	—
計	38,731	17,987	27,607	5,410	89,737	△4,368	85,368
セグメント利 益又は損失 (△)	973	1,045	383	29	2,431	△168	2,263

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規事業(ネットワークソリューション、自動車用電線等)、物流業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△168百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△220百万円が含まれております。なお、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない研究開発に関わる費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	エネルギー・ インフラ事業	通信・産業用 デバイス事業	電装・コンポ ーネッツ事業				
売上高							
外部顧客へ の売上高	41,947	16,869	24,757	2,402	85,976	—	85,976
セグメント 間の内部売 上高又は振 替高	21	293	1,061	3,280	4,656	△4,656	—
計	41,969	17,162	25,818	5,682	90,633	△4,656	85,976
セグメント利 益又は損失 (△)	2,903	1,318	204	110	4,537	△264	4,273

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規事業(ネットワークソリューション、自動車用電線等)、物流業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△264百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△271百万円が含まれております。なお、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない研究開発に関わる費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントの変更等に関する情報

当社グループの報告セグメント区分は、従来、「電線線材事業」、「電力システム事業」、「巻線事業」、「コミュニケーションシステム事業」および「デバイス事業」としておりましたが、2019年2月4日開催の取締役会決議に基づき、当連結会計年度より、「エネルギー・インフラ事業」、「通信・産業用デバイス事業」、「電装・コンポーネツ事業」に変更しております。

この変更は、各事業セグメントの担当執行役員のもと基盤事業の再構築や成長事業、新規事業の拡大、さらにポートフォリオの見直しをこれまで以上に推進していくことを目的として、従来の製品群を主体とする事業セグメントから、より当社グループのビジネス分野や戦略性に即した事業セグメントへ変更するものであります。

なお、前第2四半期連結累計期間の「報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報」については、当該変更後の金額に組替えて表示しております。

b. 関連情報

前第2四半期連結累計期間（自 2018年4月1日 至 2018年9月30日）

地域ごとの情報

売上高

(単位：百万円)

日本	アジア	その他	合計
76,259	9,034	74	85,368

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国または地域別に分類しております。

当第2四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）

地域ごとの情報

売上高

(単位：百万円)

日本	アジア	その他	合計
79,140	6,753	82	85,976

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国または地域別に分類しております。